

令和 7 年第 9 回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和 7 年 9 月 1 7 日 (水)
開 会 1 5 時 0 0 分
閉 会 1 6 時 0 0 分
場 所 仁多庁舎 2 階 2 0 1 会議室
出席委員 福田教育長職務代理者 谷尻教育委員 松崎教育委員
小林教育委員

委員会事務局 高尾教育魅力課長、石原文化スポーツ推進課長、中林課長補佐、藤原課長補佐、藤原指導主事

教育長

○教育長諸般の報告

○8/27 第 2 回県・市町村教育長会議・学力育成会議について

・今後の学力育成

「しまね教育振興ビジョン」に掲げる資質・能力のうち、「学びの中核をなす学力」の育成に関わる取組を具体的に推進することを目的として、「第 2 期しまねの学力育成推進プラン」が策定され、その推進プラン内で年度ごとに示される「重点アクション」について再確認を行いました。「令和 7 年度重点アクション」では、「アクション 1 問題発見・解決能力を育む授業」、「アクション 2 全国学力・学習状況調査を活用した授業改善」、「アクション 3 ICT 活用指導力向上に係る研修での学びを生かした授業づくり」、「アクション 4 子どもが自分に合った学び方を選択できる授業づくり」の 4 つを示していますが、「アクション 2 全国学力・学習状況調査を活用した授業改善」に力を入れていきたいとのことでした。

そのための県教育委員会の取組として、学力調査並びに各市町村の状況把握を行い、それぞれに合った支援や、小学校低学年からの学習の躓きをなくすための「たつじんテスト」の導入などの説明がありました。

・教職員の働き方改革の進捗状況

昨年度までは、学校平均の年間時間外が 360 時間（月 45 時間）以内と示されていましたが、今年度からは、教職員個々の年間時間外が 360 時間以内になるようにと方針が示されました。また、実施計画および実施状況については、公表することとなり、合わせて、今年度から総合教育会議にも報告することが義務付けられました。

○9/10, 11 9 月議会定例会一般質問について

5 名の議員から質問がありました。

・横田高校の今後の在り方・魅力化について

「奥出雲町」の知名度を生かし、「奥出雲町高校」への校名の変更、合わせて地域性を生かした新学科創設等を行ってはどうか。

→現在、横田高校が教育魅力化などの事業を進めていることを説明し、今後、検討していく必要があると説明をしました。

・子どもの読書活動について

→令和 6 年度に令和 7 年度から令和 9 年度の 3 か年を期間とした「子ども読書計画」を策定し、その計画に基づいて推進していくと報告をしました。この計画は町のホームページにも掲載しています。また、DX の推進についても図書館の情報システムの更新・機能強化をしていく予定だと回答をしました。

・学校再編・統合について

教職員体制

→統合にあたり、出雲教育事務所および県教育委員会へ加配の希望を出しており、それがすべて配置されています。

保護者からの声

→横田小学校を通じて様々な意見をいただいておりますが、肯定的な意見が多いように感じました。

地域連携や行事運営などの変化・課題

→1 学期は横田地区のみでしたが、今後は、他の地区でも連携を行うため、教材発掘・研究を行っているとしています。

仁多小学校の準備・工事の進捗状況

→4 月 1 日の開校を目指し、服装や校旗などの決定を行っています。決定事項については、A3 両面刷りの資料を全戸配布、並びに町のホームページにも掲載をしています。

・不登校の児童生徒数

奥出雲町では、12 名の不登校生徒がおり、学校がそれぞれ対応をしていると説明をしました。

参加者 4 名

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 谷尻委員

	議案第 15 号 奥出雲町教職員ストレスチェック制度実施規程について
事務局	※資料により説明 厚生労働省が示すストレスチェック制度実施規程例をもとに奥出雲町の実態に合うように加筆・修正を行ったものです。 承認をいただけた場合、本日から施行したいと考えています。
教育長	質疑等はございますでしょうか。 (質疑なし)
教育長	決を採りたいと思います。この案でよろしいでしょうか。 (異議なしの声あり)
教育長	ありがとうございます。
	○報告事項 ・令和 6 年度教育委員会事務点検・評価報告書について
事務局	※資料により説明 昨年度、教育委員の皆様からの指摘を受け、今年度より様式を変更しています。 ○主な変更点 ・3-1-2 不登校支援 奥出雲町教育支援センターを試行的に開設し、現在、延べ 48 人が参加しています。利用者を確保することができたという点を評価し、A 評価をつけています。 ・3-1-2 学校給食 物価高騰対策等によって児童 1 食分の給食費を 42 円安い 266 円、生徒 1 食分の給食費を 45 円安い 315 円で抑えることにより、保護者の負担軽減に寄与しているとして A 評価をつけています。 ・3-1-3 学校再編統合推進委員会 横田小学校の統合に関わる評価として A をつけています。 ・3-2-1 キャリア教育 新規事業所の協力やマニュアルの作成などを行い、一層の取り組みを行っているため、A 評価をつけています。

事務局	この点検評価報告書の内容については、来月の定例教育委員会で協議をお願いします。 ○令和 7 年度島根県市町村教育委員会連合会総会（書面開催）結果について ※資料により説明 8 月の定例教育委員会で議案第 14 号としてお諮りした市町村教育委員会連合会総会の書面決議の結果についてです。すべての議案について承認されました。
事務局	○令和 7 年度島根県市町村教育委員会連合会研修会について ※資料により説明 10 月 6 日（月）に出雲市で連合会研修会が行われます。9 月 22 日が申し込みの締め切りですので、後ほど出欠の確認をさせていただきます。
事務局	○放課後子ども教室「よつば教室」について ※資料により説明 現在、横田小学校において毎週月曜日、バス通学をしている 1 年生から 3 年生の児童を対象に教育委員会のコーディネーターや地域ボランティアの方々が読み聞かせや自習などの見守りを行っています。 2 学期から子ども教室「よつば教室」として横田小学校のすべての児童を対象に学校開業日の水曜日にリハビリテーション学院の学生の方と一緒に運動遊びや軽スポーツを行う予定にしています。9 月 19 日を申し込み期限としています。現在、10 名程度の方から申し込みを受けています。 このこども教室は、仁多地域の小学校でも実施していきたいと考えています。
事務局	○令和 7 年度全国学力・学習状況調査について ※資料により説明 今年度は、小中学校ともに 1 教科増え、小学校は 6 年生を対象に国語、算数、理科、中学校は 3 年生を対象に国語、数学、理科で実施されました。 中学校理科は、従来の PBT（Paper Based Testing：紙の問題用紙と解答用紙を使用する試験方式）ではなく、CBT 方式（Computer-Based Tests：コンピュータを使用した試験方式）になっており、IRT（Item Response Theory：児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。項目反応理論）を用いて結果が返却されているため、他の教科と数値が異なります。 また、小学校においては 6 校中 2 校が複式学級を編成している関係で未履修の範

困があるため、該当の小学校と協議した結果、一部の問題のみ回答することとし、該当の小学校の調査票は国へ提出しないことになりました。そのため、該当の小学校の結果は含まれていません。

この結果の要約は10月の町広報紙にて周知する予定にしています

○小学校

県平均との比較では、3教科とも上回っていますが、全国平均と比較すると国語が1.8ポイント低くなっています。しかし、島根県では、プラスマイナス2ポイント以内は有意差なしととらえているため、国語の結果もその範疇と考えています。

・国語

小中学校ともに書くことが強みであると結果からみることができる一方、話すこと・聞くことの領域については、課題が残る結果となっています。

・算数

数と計算の領域については、同児童を対象に昨年度実施された県学力調査で見られた課題の改善が見られ、各学校での授業改善等の成果が表れているととらえています。一方、図形の領域については、課題が残る結果となっています。

・理科

おしべ、めしべなどの科学的な用語の意味理解はできていますが、実験の結果をもとに回答する外面的な理解に課題が残りました。

○中学校

県平均との比較では、3教科とも上回っており、全国平均との比較でも数学が0.3ポイント低くなっていますが、有意差なしの範囲であると考えています。

・数学

数学の数と式の領域については、昨年度の県学力調査で見られた課題の改善が見られた一方、データの活用の領域については課題が見られました。

・理科

県から全体的におおむね満足できる結果との評価をされましたが、元素記号などの知識及び技能の面では課題が見られました。

○今後の授業改善について

授業において既に習ったこととこれから習うことをつなげて生かす工夫や子ども達が実生活とつなげながら取り組めるような課題設定が求められていると分析しています。

教育長	○今後の全国学力調査・学習状況調査について 文部科学省より来年の４月第３木曜日に実施されることが公表されています。今後は、すべての教科を CBT 方式で行う予定になっています。 質疑等はございますでしょうか。
谷尻委員	広報紙に掲載するならば、もう少しわかりやすい表現にした方がいいのではないのでしょうか。
事務局	今この場ですぐに改善案を提案することは難しいため、持ち帰って検討をさせてください。
事務局	○幼稚園の訪問について 就学前の子どもの様子や幼小接続強化を図ることを目的に 10 月、11 月に幼稚園の訪問を予定しています。現在、日程を調整しておりますので、日程が決定次第、案内をさせていただきます。
	< 次回定例会は 10 月 15 日（水）午後 15 時 00 分から（予定） > 会 議 録 署 名
署名委員	谷 尻 圭 子
教育長	川 本 健 二